

これまでの 6channelを振り返って

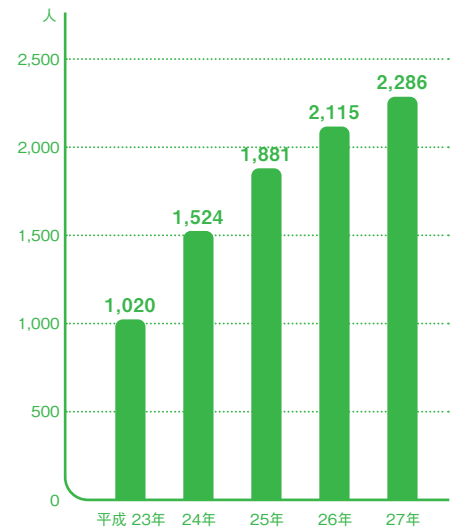


本誌「6channel」は、この度、通巻第15号となりました。第1号から第6号までは各号10,000部、第7号からは15,000部に増刷し、全国の地方農政局等を通じて各地にお届けしています。さらに、WEBサイト版「第6チャンネル」の公開や、メールマガジンの配信も行っています。メルマガの登録者数は、平成23年度当初1,020名でしたが、平成27年12月には累計で2,286名に増えています。そのうち、農林漁業者の340名であり、年々増加傾向にあるものの、全体に占める割合は

約14%に止まっています。

6次産業化とは、農林漁業者が生産のみならず、加工や販売を一体的に行う際、様々な工夫を凝らすことを通じて、農林水産物の付加価値を高め、これによって所得の向上を目指す取組です。6次産業化に取り組む農林漁業者の方々の情報ニーズに応じて行くためには、農林水産物の付加価値を高めるに当たっての先駆者の思いと実践をわかりやすくお伝えする必要があると感じています。

メールマガジン登録者数の推移



第6次産業化ポータルサイト 第6チャンネル

www.6-ch.jp/

6次産業化の取組を支援するポータルサイトとして、これからも情報発信していきます!



フリーペーパーのご案内

本誌のバックナンバーをダウンロードできます。是非ご覧ください。

- ▼フリーペーパーのダウンロードはこちらから
https://www.6-ch.jp/fp_contact/
- ▼メルマガ会員登録はこちらから
<https://www.6-ch.jp/melmaga/>
- ▼農林水産省食料産業局フェイスブック
<https://www.facebook.com/maff.shokusan>

■バックナンバーの印刷物をご希望の方は、第6チャンネル(Webサイト)のTOPページ「お問合せ」より、「詳細」欄に「フリーペーパー希望」とご明記の上、ご希望の号数と送料先、郵便番号をご連絡下さい。送料実費にてお送りいたします。なお、数に限りがございますので、在庫が無いバックナンバーにつきましては、印刷費、送料実費にてご提供いたしますので、ご相談下さい。



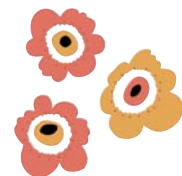
編集後記

本誌第4号で取材した大分県の宮田さんにお会いした。宮田さんは、ぶどう農園を経営しながら高品質な干しぶどうの商品化に取り組み、平成20年の事業立ち上げ時に300万円程度だった売上げを、平成27年には2,000万円規模にまで拡大させている。さらには、米国にも販路を広げ、売上げを伸ばしているようだ。

今後の夢について尋ねると、「自らが地域農業のロールモデルになり、農業を志す若者の意識を変えていきたい。」と言う。次の取組のひとつとして、グリーンツーリズムによる地域への集客拡大とファンづくりを行いながら、農村ビジネスの新たな展開を考えているようだ。

取材から3年余りが経過し、その時の思いを着実に実行している宮田さん。いつの日か、かつて取材した方々のその後の状況を追いかけてみたい。

編集長 奥野 俊志



6次産業化フリーペーパー
「第6チャンネル」vol.15 (2016年3月発行)

編集人：奥野俊志
編集・取材：奥野俊志、河原木徹、菅野康子、
浦岡伸行、金森真粧美、石川千晶
デザイン：安野真由美
制作協力：平成ソフト

